

○ jQueryとは

JavaScriptを**簡単**に扱うための
オープンソースライブラリ

クロスブラウザ

IE6+、FireFox2.0+、Safari3.0+、Opera9.0+
Chrome

MITとGPLのデュアルライセンス

商用利用やソース改変、再配布可能

○ バージョン

jQuery1.x 系 IE6,7,8をサポート

～ jQuery1.8.3

PCサイト向け

○ 後方互換を重視 × 重い・遅い

jQuery1.9.x ～

○ 軽量・速い × 非推奨機能削除

○ バージョン

jQuery2.x 系 IE8以前未サポート

スマホサイト向け

○ さらに軽量・速い

✖ 非推奨機能をかなり削除

旧IE系のサポートを打ち切ったことで
今まで以上に軽量・高速に

○ バージョン

jQuery3.x 系 IE8以前非サポート

○ さらに軽量・速い

スマホサイト向け
今後の主流

✕ 非推奨機能をかなり削除

旧IEのサポート終了により1.x系の後継は開発終了。2.x系の後継のみ

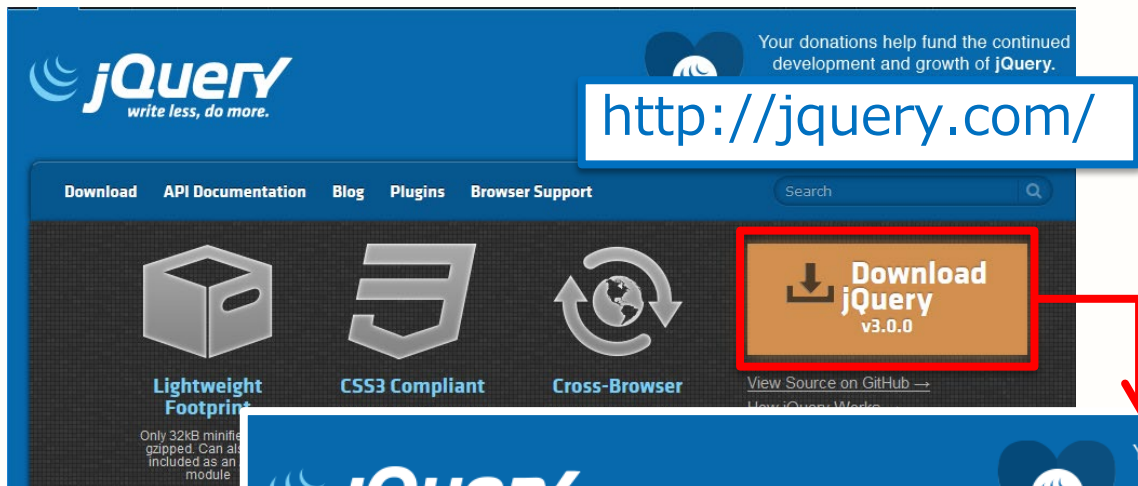
○ jQueryを利用する：方法 1

ダウンロードして利用

自社サイト内にjQueryを置いて利用

○ ネットに接続していなくてもよい

✖ ダウンロードして配置するのが面倒



○ jQueryを利用する

大手サーバ(CDN)に接続して利用

大手サーバ(CDN)のjQueryを使って利用

- すぐ利用できる
表示高速化がみこめる可能性がある
- ✖ インターネット接続が必須になる
大手サーバがダウンすると利用不可

○ jQueryを利用する

CDN Contents Delivery Network とは

コンテンツ配信用に最適化されたネットワーク

jQuery

<http://code.jquery.com/>

Google

<https://developers.google.com/speed/libraries/#jquery>

Microsoft

https://www.asp.net/ajax/cdn#jQuery_Releases_on_the_CDN_0

○ jQueryを利用する

コピペすればすぐ利用できる

```
<script src="https://code.jquery.com/jquery-3.3.1.min.js"></script>
```

○ jQueryを利用する

`</body>`直前記述が流行り

基本：どこで読み込んでもよい

- ・ jQuery読み込み時はHTMLの表示が止まる
- ・ ページを表示してから
jQueryを読み込むことで表示高速化

○ jQueryでプログラミング

```
<script>
```

```
$(function(){
```

【ここにプログラムを記述】

```
});
```

```
</script>
```

- jQuery読み込み完了後に記述する
- ページ読み込み完了後実行

○ jQueryの書き方：基本

```
$('p').css('color','red');
```

↑
場所を選択

↑
処理を行う

基本の書き方は2ステップ

1. 場所を選択する（CSSセレクタ）
2. 処理を行う

○ jQueryの書き方：基本

```
$('p').CSS('color','red');
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前：

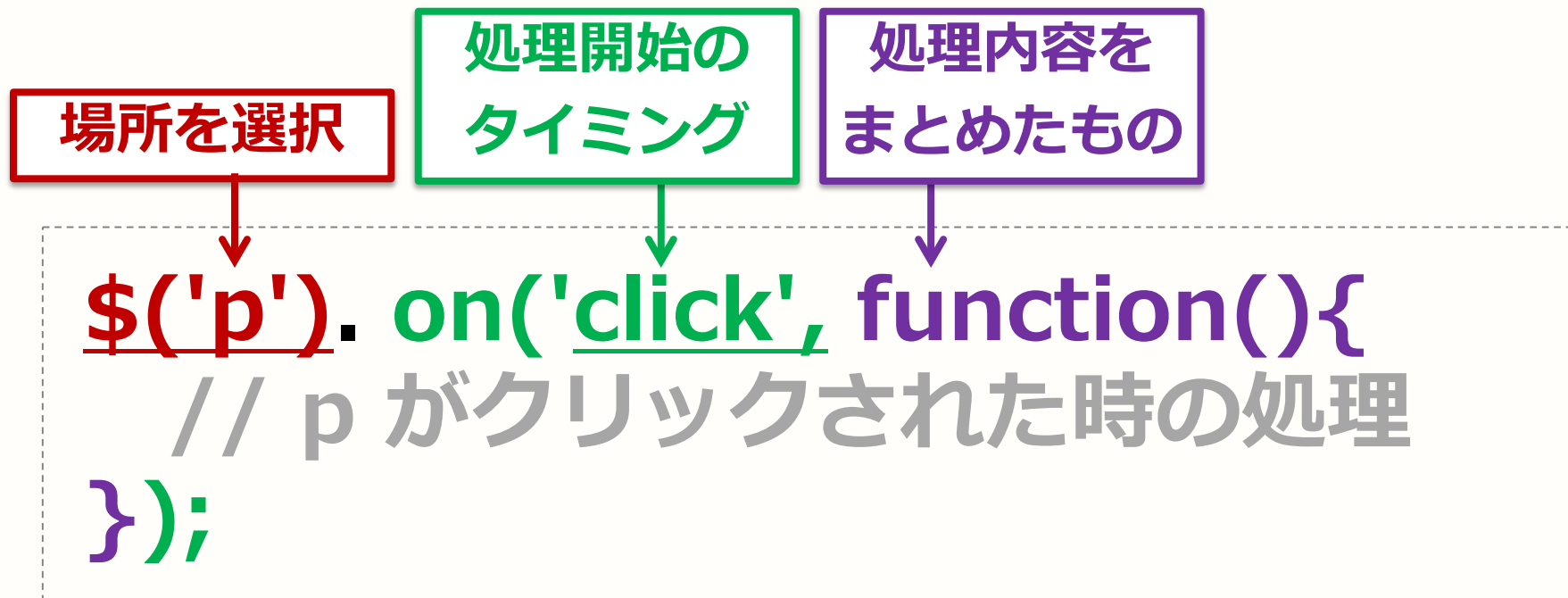
jQueryが用意したもの

呼び出すと用意された処理を開始する

処理に応じた細かい指示：

決められた書式で指定

○ jQueryの書き方：イベント



イベント設定は3ステップ

1. 場所を選択
2. 処理開始のタイミング（イベント）を指定
3. 処理内容

○ jQueryの書き方：イベント

場所を選択

処理開始の
タイミング

処理内容を
まとめたもの

`$('p')`. `click(function(){`
// p がクリックされた時の処理
`});`

旧

`$('p')`. `on('click', function(){`
// p がクリックされた時の処理
`});`

新

○ イベントの種類

dblclick	ダブルクリック時
mouseup	マウスボタンを離した時
mouseover	マウスカーソルが要素内に入った時
mouseout	マウスカーソルが要素内から出た時
mousemove	要素内でマウスカーソルが移動した時
keyup	キーを離した時
scroll	スクロールした時
load	読込が完了した時

その他イベントは下記URL

<http://tanappa.net/jquery-event-list/>

○ アニメーション処理

場所を選択

処理開始の
タイミング

処理内容を
まとめたもの

```
$('#btn1'). on('click', function(){  
    $('#box1').hide();  
});
```

#btn1 id名box1 を**クリック**したら
指定処理 `$('#box1').hide();` を実行

○ アニメーション処理

```
$('#box1').hide(500);
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : hide

対象箇所を非表示にする（右下→左上）

処理に応じた細かい指示 : 500（省略可）

指定ミリ秒をかけて非表示にする

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').show(500);
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **show**

対象箇所を表示する（左上→右下）

処理に応じた細かい指示 : **500**（省略可）

指定ミリ秒をかけて表示する

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').toggle(500);
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **toggle**

対象箇所を表示・非表示する (左上⇔右下)

処理に応じた細かい指示 : **500** (省略可)

指定ミリ秒をかけて表示・非表示する

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').slideUp(500);
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **slideUp**

対象箇所を非表示にする (下→上)

処理に応じた細かい指示 : **500** (省略可)

指定ミリ秒をかけて非表示にする

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').slideDown(500);
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **slideDown**

対象箇所を表示する（上→下）

処理に応じた細かい指示 : **500**（省略可）

指定ミリ秒をかけて表示する

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').slideToggle(500);
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **slideToggle**

対象箇所を表示・非表示する (上⇔下)

処理に応じた細かい指示 : **500** (省略可)

指定ミリ秒をかけて表示・非表示する

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').fadeOut(500);
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **fadeOut**

対象箇所を非表示にする（不透明→透明）

処理に応じた細かい指示 : **500**（省略可）

指定ミリ秒をかけて非表示にする

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').fadeIn(500);
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **fadeIn**

対象箇所を表示する (透明→不透明)

処理に応じた細かい指示 : **500** (省略可)

指定ミリ秒をかけて表示する

省略時は0ミリ秒

○ アニメーション処理

```
$('#box1').fadeToggle(500);
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **fadeToggle**

対象箇所を表示・非表示する (不透明 \Leftrightarrow 透明)

処理に応じた細かい指示 : **500** (省略可)

指定ミリ秒をかけて表示・非表示する

省略時は0ミリ秒

○ 要素操作

```
$('#box1').html(['コンテンツ']);
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **html**

**対象要素内のコンテンツを取得
引数に値を入れた場合は書き換え**

処理に応じた細かい指示 : **'コンテンツ(タグ含む)'** (省略可)
要素内のコンテンツを指定した値に上書き
省略時は取得

○ 要素操作

```
$('#box1').prepend('コンテンツ');
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : prepend

対象要素内の先頭にコンテンツを追加

処理に応じた細かい指示 : 'コンテンツ(タグ含む)'
要素内の先頭に指定した値を追加する

○ 要素操作

```
$('#box1').append('コンテンツ');
```

↑
処理の名前

↑
処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **append**

対象要素内の末尾にコンテンツを追加

処理に応じた細かい指示 : 'コンテンツ(タグ含む)'
要素内の末尾に指定した値を追加する

○ 要素操作

```
$('#box1').empty();
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : empty

対象要素のコンテンツ(内容)を削除
(要素自体は削除しない)

処理に応じた細かい指示 : なし

○ クラス制御

```
$('#box1').addClass('名前');
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **addClass**

対象箇所のクラス属性に値を付与する

処理に応じた細かい指示 : **'名前'**

要素のクラス属性に指定した値を付与する

○ クラス制御

```
$('#box1').removeClass('名前');
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **removeClass**

対象箇所のクラス属性から値を削除する

処理に応じた細かい指示 : **'名前'**

要素のクラス属性から指定した値を削除する

○ クラス制御

```
$('#box1').toggleClass('名前');
```

処理の名前

処理に対する
細かい指示

処理の名前 : **toggleClass**

対象のクラス属性に値を付与/削除する(切替)

処理に応じた細かい指示 : **'名前'**

要素のクラス属性が指定した値を持っていれば
削除、なければ付与する